

抄 録

歯周病が及ぼす全身への影響 — 糖尿病とメタボとの関わりを中心に —

日本大学歯学部衛生学講座
教授 前野 正夫 先生

近年、歯周病が全身の健康に様々な悪影響を及ぼすことが報告されています。歯周病になると、血中の炎症性サイトカインやCRP量が増加します。

また、歯周病菌やその構成成分が全身の組織や臓器に運ばれ、サイトカインとともに糖尿病をはじめ様々な生活習慣病の発症や進行に悪影響を及ぼします。

一方、糖尿病に罹患した歯周病患者に歯周治療を行うと、血糖値やHbA1c値が改善したという報告が多数あります。

糖尿病患者は歯周病に罹患しやすく、その進行が早く治るのも遅いと言われていいます。糖尿病で怖いのは高血糖ではなく慢性合併症であり、歯周病もその一つに含まれています。

また最近、歯周病とメタボリックシンドローム（メタボ）との関連性が疫学研究によって示されています。職域成人を対象とした、当講座とライオン歯科衛生研究所との共同の疫学研究結果によると、歯周ポケットの有無とメタボの各指標（肥満、高血圧、高血糖、血中の脂質異常）とは密接に関連しており、深い歯周ポケットを有する人は将来メタボの発症リスクが高いことが判明しました。

さらに、深い歯周ポケットを有する人は、非アルコール性脂肪性肝疾患を示す血中の肝機能マーカー値が高いことも判明しました。

これらの研究成果から、歯周病の予防は糖尿病およびメタボなどの生活習慣病の予防や全身の健康維持・増進にも貢献することが示唆されました。

本講演では、糖尿病とメタボとの関わりを中心に、歯周病が及ぼす全身への影響について、最新の疫学研究データを基にお話しします。